

岸田政権の大軍拡を許さない 敵基地能力の保有は憲法9条違反

昨年12月16日岸田内閣は、安保3文書改定を閣議決定しました。安保3文書改定のポイントは3点。①大規模軍拡の予告です。「5年間で43兆円の軍事費」、「GNP比で2%」の大軍拡を宣言しました。②

専守防衛から先制攻撃・反撃能力への転換です。③中国と台湾、米国と中国の紛争を想定した日米共同作戦計画に基づく「新しい戦い方」の計画です。

戦力の保持に関して、政府はこれまで「自衛のための必要最小限度の実力は戦力にあたらない」とする一方で、「他国に侵略的攻撃脅威を与えるような装備」は戦力となり、憲法上保持できないと説明してきました。今回の改定は、まさに「他国の侵略的攻撃的脅威を与える」兵器の保有を認めるも

のと述べ、以下の様に解説しました。

大江弁護士は「敵基地攻撃能力保有は憲法9条を死文化するもの」と述べ、以下のように解説しました。

安保3文書改定による大軍拡は、福祉国家を瓦解させます。5年間で43兆円もの莫大な軍事費は、増税、文教福祉予算の歳出削減によつて賄う以外に方法はありません。

世論の力で安保3文書の閣議決定の撤回を求めていくことが

有によつて自衛隊は攻撃的兵器（他国の領域を直接攻撃する兵器）を持たないという憲法9条のもう一つの柱が取り払はれようとしています。

2015年の戦争法で自衛隊は海外で武力行使をしないといふ憲法9条の大きな柱を取り払はれ、今回の敵基地攻撃能力の保有によって自衛隊は攻撃的兵器（他国の領域を直接攻撃する兵器）を持たないという憲法9条のもう一つの柱が取り払われようとしています。

2月1日現在	
会員	316人
(目標350人)	
個人署名	1014筆
(目標5,000筆)	
団体署名	17筆
(目標150筆)	



滋賀県版No. 349

2023・2・15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・
全労連会館

発行

滋賀県本部

大津市竜が丘11-22-316
☎077-521-0884
袖口 延

2月1日現在の個人署名数は、1014筆です。目標の2割を少し超えたところです。もうひと回り署名活動を広げてください。岸田政権が遮る「戦争する國家」に突き進んでいるいま、国賠署名がたいへん大事になつています。

5月の国会請願に向か、いつそご協力をお願ひします。

日野町で伊藤千代子の 上映会を開催

40人が鑑賞

2月5日、勤労福祉会館ホールで午前と午後2回上映会が開かれました。

お母さんと同伴の高校生の姿もありました。「なんちゅう時代やつたんや、つらかつたやろなあ…」など帰り際に感極まり言葉をかける人、「地じばかりの花…」の本買つて読まんとな…」と『千代子最後の手紙講演録』を購入して帰る人もおられました。

(2頁の最下段につづく)

広げてください国賠署名

大津支部 全国女性交流集会の報告会を開催

大津支部幹事 菅沼満佐子

2023年1月27日（金）第31

回全国女性交流集会の報告会を坂本民主診療所ホールをお借りして開催しました。参加者の報告と“伊藤千代子の生涯とその時代背景”と題して治安維持法国賠同盟滋賀県本部幹事の高田直樹さんの講演で学習を深めました。雪の舞う中でしたが24名の参加、仕事で来られないけれど話が聞きたいといわれた方からはボイスレコーダーをお預かりしました。

開会の挨拶では国賠同盟滋賀県本部会長島田耕さんから過去の過ちの謝罪を求め未来を拓く治安維持法賠同盟の意義を確認する事ができました。全国女性交流集会初参加の藤岡さん、数回参加の古谷さんお二人の報告は臨場感があり私も参加してきたように思えました。



報告者の藤岡佐喜子さん



(中央) 講師の高田直樹さん

(1頁より)

へ加入の訴えで締めくくられました。冷たい雪も会が終わるころには上がり冬晴れ、清々しい気持になりました。

日野町はすでに彦根、秦荘、甲賀の上映会で鑑賞した方が20人以上もおられましたが、県内に上映運動をひろげようという県実行委員会の思いに連帯して、多忙な活動のなか7団体（平和委員会・町母親大会連絡会など）が集まり取り組みました。

わたむきホール、図書館、勤労者福祉会館、公民館など町内15もの施設に案内チラシを置き協力をお願いする取り組みや、町民に身近に読まれている滋賀報知新聞や地域情報新聞ヒノメイトにも上映案内が掲載されるなど、様々な工夫で地元に根付いた取り組みとなりました。



2月5日 日野町勤労福祉会館

**高島市での
伊藤千代子上映会のお知らせ**

4月23日（日）

①10時～ ②14時～

会場・安曇川ふれあいセンター

（藤ノ木ホール）

上映協力券 1000円

連絡先 高島平和委員会

木津清司さん

Tel 090-5241-4059

治安維持法と滋賀県⑩

県本部副会長 西田 清

一徹な人・優しい人と慕われた八日市・阿形賢應和尚の生涯

『阿形賢應上人 追悼文集 傳び草』には五五人の友人、教え子など追悼文を寄せている。阿形さんを「おつさん」と題する人が一人いるが、これは「隣のおつさん」ではない。京ことば、近江ことばで「和尚（おつさん）」である。

その和尚・阿形さんは一九五一年、四三歳で蒲生中学武佐校舎の講師となり、翌年に二学年主任教師となっている。戦前、建部村役場で兵事係を務めていて公職追放になり、一九五〇年に復権したようだ。戦後の公職追放には形式的な面があり、例えは長く特高警察官を務めた者も終戦時に特高から離れていれば追放されなかつた。それはさておき、妻のマサヨさんは夫を「気性の一徹な人だつ

た」というと同時に「教壇に立ち黒板に向かうと後ろからナイフが飛んできたり、通学用のバイクの空気を抜かれたり」したが、「それでも主人は『大人の事なれ主義』出世欲に比べたら子供は純真や、可愛いい」と言つていまし

た」と回想している。その阿形先生を、子どもたちは慕うようになり、先生のバイクを磨いたり、先生の家にもたびたび遊びに来るようになる。

「金賞寺のおつさんは背の高い大きな声のおつさん」（村田正雄さん）で、子どもたちは「ノッポの和尚さん」と名づけた（北山秀子さん）。

憲法に変わつたり」したのを聞いていわけ『憲法を暮らしに生かす政治多趣味で、特に短歌、以後、花作り等

を楽しん』だ「幸せ者であつた」（益田孝夫さん）。一九九三年には『一合庵歌集』を刊行した。こんな歌も載つていて。

皇太子妃のニュースに全国湧き立ちて佐川問題影うすくなる
きらめける櫻の若葉は吾が眼には
三千世界の森羅万象
わが烟のじやが芋の花咲きそろひ
沖縄県は梅雨に入りたり

前回も紹介したように、阿形先生は一九六六年三月、五八歳で蒲生中学を退職された（のち日野高校、八日市高校で講師）が、その間、八日市安保共闘会議議長、八日市平和委員会会長を務め、一九八〇年には八日市革新懇の代表世話人として平和運動の先頭に立たれた。

（写真「八日市革新懇の人たち」と）を使用 前列真ん中が阿形先生

そ正しい政治を進めるもの。とりわけ『憲法を暮らしに生かす政治を』と説かれていました。……先生に入党していただくことはできなかつたが、生涯、日本共産党員同様の力を寄せていただき』いたと豆田昇一郎・八日市市議は、感謝を寄せていている。

「頭はコミュニズム・心はアナーキズム」と言って、組織に入るのを嫌がつた人が戦前も戦後もかなりいたが、阿形先生もその一人だつたのかもしれない。

阿形賢應師は一九九四年六月一四日、八六歳でみまかられた。



また日本共産党後援会長として、寒い夜も共産党個人演説会に駆けつけ、熱弁をふるわれた。（阿形）先生は地域では『赤』の坊さんと言われ、講話や講演の中でも、常に革新の政治こ

想している。妻のマサヨさんは「日課の朝の勤行が時には日本国



明治編(下)

平民新聞社の社屋
(東京築地新富座隣)



明治36年に創刊の平民新聞

「平民新聞」は、日露戦争反対を主張などして発禁を受け、同年に64号で廃刊、同年に再興されたが再発禁を受け、同年4月、75号で廃刊となりました。

明治末期、政府は社会主義系の新聞を徹底的に弾圧しました。その犠牲者の代表が大逆事件前に抹殺された日本最初の社会主義系新聞で明治36年創刊の「平民新聞(週刊)」と創刊者で同事件により死刑となつた幸徳秋水たちです。

「平民新聞」は、日露戦争反対を主張などして発禁を受け、同年に64号で廃刊、同年に再興されたが再発禁を受け、同年4月、75号で廃刊となりました。

幸徳秋水らは「明治天皇の爆弾暗殺計画に連座した」として明治43年5月25日より次々と逮捕。明治憲法後に施行された刑法73条(天皇等に危害を加えようとした罪、いわゆる大逆罪)昭和22年に削除)など

が始まり、わずか1ヶ月の審理で幸徳秋水ら24人に死刑判決。うち12人は翌日に特赦により無期懲役となりましたが幸徳秋水ら11人が判決から6日後の1月24日、翌日には管野スガの死刑が執行されました。

無期懲役となつた12人のうち高木頸明ら5人は獄死。全国で社会主義系の出版物が発禁となりました。

大逆事件前に抹殺された「平民新聞」

日清・日露戦争で激化する言論弾圧の下で

国賠同盟県本部幹事

木越 晓

滋賀県紙・地方新聞史関連年表

西暦	和暦	出来事
1890年	明治23年2月11日	「近江新報」創刊 大日本帝国憲法の発布1周年記念日
“	4月9日	琵琶湖第1疎水完成式 明治天皇も参列
“	7月1日	第1回衆議院議員選挙 県選挙区で杉浦重剛ら5人選出
1891年	24年5月11日	ロシアのニコラス皇太子が大津で襲われる(大津事件)
1892年	25年2月2日	「湖南日報」治安妨害記事により発行停止処分
“	25年6月25日	「京都滋賀新聞」創刊
“	11月1日	「萬朝報」(東京)創刊 6年後に幸徳秋水、堺利彦ら入社
1894年	27年4月17日	「滋賀日出新聞」創刊 同40年12月廃刊
“	7月25日	日清戦争の開始 翌年4月17日に終戦 各紙で号外発行競う
1898年	31年8月1日	「長浜商況新報」(長浜の商業新聞)創刊
1900年	33年12月1日	「江州新聞」(大津)創刊 3年後に廃刊
1901年	34年5月26日	「滋賀日報」創刊 非戦をかけ全国有数の革新地方紙に
“	6月15日	「長等日報」(大津)創刊 11年後に「京津日報」と改題
1903年	36年11月15日	「平民新聞」(東京・週刊)創刊 発禁を受けて1年半後に廃刊
1904年	37年2月10日	日露戦争の開始 近江新報が旅順に從軍記者を派遣
“	6月、8月	「江州武村商報」「近江実業新報」(彦根の商業新聞)創刊
1905年	38年4月	「滋賀日報」の村下鶴甫記者が「非戦論」を連日展開
“	9月5日	日露戦争終戦 日本は韓国の外交権を奪い統監府を設置
1906年	39年4月1日	滋賀日報社に活字(母字)鋳造部設置

弾圧に耐えた明治下期の湖国新聞

戦争の始めに言論弾圧。それは明治27年の日清戦争前、新聞に全国で230件の新聞発行停止を強行。湖国でも「湖南日報」が処分されました。同戦争後の28年も222件の処分を受け、湖国では「淡海民報」として読者を増やしました。

従軍記者を派遣した近江新報

明治23年2月11日創刊の「近江新報」は大津坂本の社屋を3年後、大津東浦に移転。同33年、印刷所を建てて同伊勢屋町（中央）に再移転。

日清、日露戦争には従軍記者を派遣して読者を増やしました。

「近江新報」が遼東半島還付記事で発行停止処分されました。

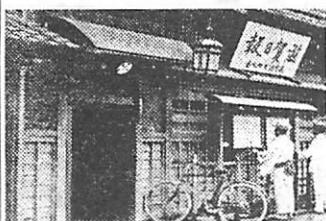
反戦を主張し続けた滋賀日報

明治34年5月26日創刊の「滋賀日報」は大津鍵屋町の社屋を2年後、大津橋本町（浜大津）に移転。非戦越えた「ペンは剣より強し」の格言に学んで弾圧に耐え、大正期～昭和初期まで発行を続けた

件で死刑判決（のち無期）を受ける崎久保誓一記者も在職、健筆を振っています。



明治23年2月11日創刊の「近江新報社」(大津伊勢屋町時代の社屋)



明治34年5月26日に創刊の「滋賀日報社」(大津橋本町時代の社屋)



革新的地方紙と評された「滋賀日報」の紙面

湖国の新聞事情③「明治編」(下)

の3年間に「治安妨害」を理由に全国で230件の新聞発行停止を強行。湖国でも「湖南日報」が処分されました。同戦争後の28年も222件の処分を受け、湖国では「淡海民報」として読者を増やしました。

西暦	和暦	出来事
1907年	明治40年1月15日	「平民新聞」(日刊で復刊)4月に再び発禁受け75号で廃刊
"	3月1日	「滋賀新聞」(大津)創刊
1909年	42年4月～	10月大逆事件で無期となる崎久保誓一が「滋賀日報」記者に
"	5月6日	新聞紙条例が廃止され新聞紙法を公布 言論統制を強化
"	10月1日	「滋賀日報」夕刊発行を開始
1910年	43年1月30日	「滋賀日報」夕刊廃止、2月より朝刊の紙面増ページ
"	8月29日	日露戦争後の韓国を日本領土に(日韓併合)
"	12月1日	「湖北新報(一般紙)」創刊 2年後に「コホク」と改題
1911年	44年1月18日	大逆事件の大審院判決で幸徳秋水(41歳)ら24人に死刑判決
"	1月19日	24人のうち崎久保誓一(27歳)ら12人は特赦で無期懲役に
"	1月24日	幸徳秋水ら11人が死刑、翌日に管野スガ(31歳)死刑執行
"	5月1日	「関西日々新聞」(彦根)創刊
"	11月1日	「江越日報」(彦根)創刊
1912年	45年5月4日	「淡海新報」(長浜・月6回発行)創刊
"	7月30日	明治天皇が死去(61歳) 同日「大正」と改元



「ペンは剣より強し」の漫画カット

【解説】 「ペンは剣より強し」 「言論の力は武力より大きい力」を表現している世界的な格言。19世紀のイギリスの作家エドワード・リットンの戯曲にある「The Pen is mightier than the sword」が原点。日本では福沢諭吉らが活用、ジャーナリストたちの「反戦合い言葉」となって広がった。
崎久保誓一(1885～)三重県出身。明治42年4月～10月まで「滋賀日報」記者。大逆事件のグループ入り受刑。無期収監18年ののち復権。昭和30年、70歳死去。

自由と人権・平和をわが人生に重ねて②

大津支部 白石 道夫

「人権争議」との出会い②

劣悪な労働環境と生活環境を彦根工場でみれば、勤務時間は、先番・午前5時から午後1時45分まで、後番・午後1時45分から午後10時30分まで、深夜番・午後10時30分から翌朝5時まで。昼間勤務が午前7時30分から午後4時15分まで。深夜勤務専属の労働者は「太陽が黄色く見える」と落書きをしている。

労働者の大半は工場敷地内にある寄宿舎での寮生活。そこでは舍監という名の管理者がおり、寝起きのしつけだけでなく、信書の開封、「鑑（かがみ）」という名の手帳を持たされ仏教の強制、男女交際はご法度も。新しい憲法を学び、民主主義的教育を受けた当時の若者が、この異常に黙っているわけがない。ついに爆発。大阪の本社労働者が1

954年6月2日決起、これに続いた彦根の労働者が6月7日未明に決起。

1954年6月7日、私たち6月入社組の初出勤の日である。作業着姿で寮を出て食堂に向かった。噴水のある広場にでる。噴水のそばに人が集まっていたが、別に気にせず、食堂で朝食をとつた。食事を済ませて再び広場に出たとき、初めて異常に気がついた。黒山の人だからで気勢を上げていた。

これがまぎれもなく9月16日まで続いた「人権争議」の始まりだった。

掲げられた要求は22項目、長くなるが列挙する。

- ①我々の近江絹糸紡績労働組合を即時認めよ
- ②会社の手先である御用組合を即時解散せよ
- ③会社が指名せる労働者代表の締結せる一切の規定を撤回せよ
- ④拘束8時間労働の確立
- ⑤タイムレコードの即時復活と残業手当の支給
- ⑥合理的な退職賃金体系の確立
- ⑦有給休暇、生理休暇の完全実施
- ⑧食堂の完備、更衣室の新設、社宅並びに寮設備の改善充実など福利厚生施設の充実
- ⑨宿直室の完備、専門宿直者、専門掃除婦および各寮の専属炊事係即時配置
- ⑩仏教の強制絶対反対
- ⑪夜間通学など教育の自由を認めよ
- ⑫結婚の自由を認めよ、別居生活を強制するな
- ⑬ハイキン
- ⑭音楽、映画、サークルなど一切の文化活動を認めよ
- ⑮労働強化を強制する各種対抗競技を廃止せよ
- ⑯人権を蹂躪した信書の開封、私物検査を即時停止せよ
- ⑰各課最低必要人員の制度、尾行等一切のスペイ活動の強制を止めよ
- ⑱外出の自由を認めよ
- ⑲首切り反対
- ⑳各課最低必要人員の即時補充
- ㉑重役の人格を無視した言動および始末書乱発の禁止
- ㉒自動車部員の社内寄宿を廃止し、社外寮に引き移すこと
- ㉓自動車に対する損害保険の即時加入



写真提供・高田敬子さん
(大津支部顧問)

「労組結成宣言」は、「わが国の憲法は主権在民の上にたち」から始まり、人権と自由を蹂躪する実態を告発し、「格子なき牢獄に呻吟する過去の奴隸労働に終止符を打とう。開放の鐘を高らかに打ちかけた。

要求項目に直接的な賃上げ要求はない。そこにあるのは自由と人権に関わるもののが大半を占めている。

100日を超えるストライキ闘争は困難を極めた。しかし同時に労働者としてのたくましさ、友情と連帯を育む100日余となつた。私も職場に足を踏み入れることなく新組合の一員としてストに参加することになった。

滋賀と朝鮮

米原小学校②

83

河かる

前回の冒頭に書いた「ジエンダー平等をつくる」という授業について

誓」像と同じ時期に寄贈された「平和の光」像が残されていること、校

ます。

人口調查
今後、

二〇一〇年

て、その後もいろいろあつた末、最終的に授業は無事に開講されるることになり、日本軍「慰安婦」問題

舎は取り壊されたが、この像と、像のある庭園は現在も残つてゐることなどを書きました。

販賣のタイミングは一番遅い人
統計は、1945年11月時点で全国
的に行われた人口調査で、市郡単位
での人口がわかります。坂田郡(半

この運転でたてたてて
することになる李圭台氏による手
記「民族の誇りを伝えて 聞き書き
き湖国私史」1～5（『毎日新

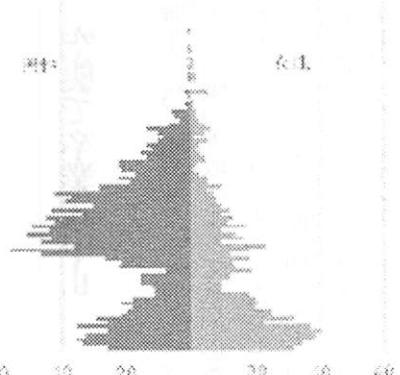
月末から始まる後期の科目で、月曜日の午前です。社会人の方も聴講できるはずなので、もじこ関心度があれば是非。開講にこぎ着けられたのは良かったものの、とんでもないことが起きたことには変わらないので、いずれ何かの形で顛末を書き残しておきたいと思つて います。

今回の賃單前後の米原の朝鮮人についてわかる範囲で書きます。現在の米原市は、2005年に米原町・山東町・伊吹町と合併してきましたが、その米原町は、1956年に米原町・醒井村・息郷村が合併してできました。朝鮮人は、旧米原町と旧醒井村が多く居住していました。

原町、醒井村が含まれる)の朝鮮人
人口は、2302人(男1495、
女807)で、年齢分布を男女別に

さて、昨年11月に「米原小学校①」を書いたあと、12月、1月と城東小学校の話に戻つてしまつていましたが、ようやく続きをに入りましたが、ようやく続きを入りたいと思います。前回は、旧米原小学校にも、城東小の「平和の

鮮人人口がわかるものは、中央協和会による1943年3月現在のデータが管見の限り最後なのですが、それによると、坂田郡米原町は177人（男98、女79）、坂田郡醒井村は216人（男191、女25）でし



335人ですから、1945年以後数年の間に朝鮮人人口が激減したと思われます。

た。醒井村は石灰山関係の男性労働者が多かつたようで、米原町はこ

表すと図のようでした。若い成人

の段階では何を生業としていたのかよくわかりませんが、1944年に入江内湖干拓事業が始まると、それに従事した朝鮮人が多かつたとされ

人口も多いので、家族で居住していた人も多かつたことがわかります。〔図〕滋賀県在住朝鮮人の人団ピラミッド・坂田郡・昭和20年

する』ことになる。李圭台氏による主記「民族の誇りを伝えて 聞き書き湖国私史」15(『毎日新聞』滋賀版、1980年8月26日掲載)によれば、醒井には敗戦當時、土木工事や石灰山の労働で朝鮮人が500人ほど住んでい

耕作権を獲得したといいます。養豚や養鶏もしながら失業対策や生活安定策などの民生問題解決に精進していると報じられています。

以上、本当に断片的なことしかわかりませんが、石灰山関係、干拓、干拓後の農地での農業を生業としていた人が多かつたこと、男性の単身労働者だけでなく、家族を伴つて暮らしている人も多かつたこと、敗戦を前後して人口の増減が激しかったと思われることなどが言えるかと思います。

前掲の李圭台氏の手記によれば、日本の敗戦を知った朝鮮人たちは、集まつては「祖国へ帰れる」と話し合いましたが、大人も子供もほとんど朝鮮の字を知らなかつたので「母国へ帰るには、まず、言葉と文字を知らなくては」と民族学校を開くことになつたそうです。1946年早々には、小屋のようない状態で始まりました。そのうち専用



卒寿の思い『少年時代は、戦争だった』⑥

甲賀市 吉村 克之

の教室を建て、机も揃えて、一クラス40人ぐらいできゅうぎゅう詰めで昼は子ども、夜は青年と成人交代で授業。文字がわかる朝鮮人は醒井で2、3人だったそうですが、そのうちの一人であつた李圭台さんは大変だつたようです。

こうして始まつた学校がその後どうなつていつたのか、次回以後、みていくたいと思います。

【付記】

以前に案内した、1月29日の近江八幡での映画「金福童」上映会は会場に入りきらないほど大勢の方に観に来ていただけました。

2月25日（土）18時半、京都駅近くの響都ホールでも上映会を行いますので、大津方面の方は是非お越し下さい。詳しくはQRコードからご確認ください。

開戦半年後、1942年6月のミッドウェー海戦の大敗によって戦局は後退に転じます。ニューギニアからビルマ（ミャンマー）まで伸び切つた占領地は次第に圧縮されていきました。1944年、ミクロネシアのサイパン島が陥落すると米軍の基地が設けられ、本土空襲が頻繁になります。豊後水道が目視で判りやすい進入路であった関係でしょっちゅう「空襲警報」が発令されました。市役所のサイレンは「時報」の役割から「警報」に轉じていました。大分市は本格的な空爆は少なかつたけれども、関西や北九州への爆撃の帰途、余つた爆弾を海軍施設に落として行くこともありました。

朝は町内ことに集合して、上級生の指導で、軍歌を歌いながら登校するのですが、途上に警報が発令されて帰宅するものもありました。3月末の卒業式は警報で中止となり、未だに卒業証書を手にしていません。6年生の時の担任は、新任の宗先生で、児童に慕われていました。中学の入学試験を控えて、放課後も受験指導をするという激務だつたと思います。

私たちの卒業後、肺結核を発病して、休職ののち退職され、治癒後は家業の蒲鉾製造会社の社長をされていました。私たちの大学卒業後、同級会が持たれるようになり、先生が亡くなるまでほぼ毎年開催され、私も時折参加しましたが、地元の新聞も「宗学級」として話題を報じています。

